

## エチレンセンター 11社の収益状況について (平成21会計年度)

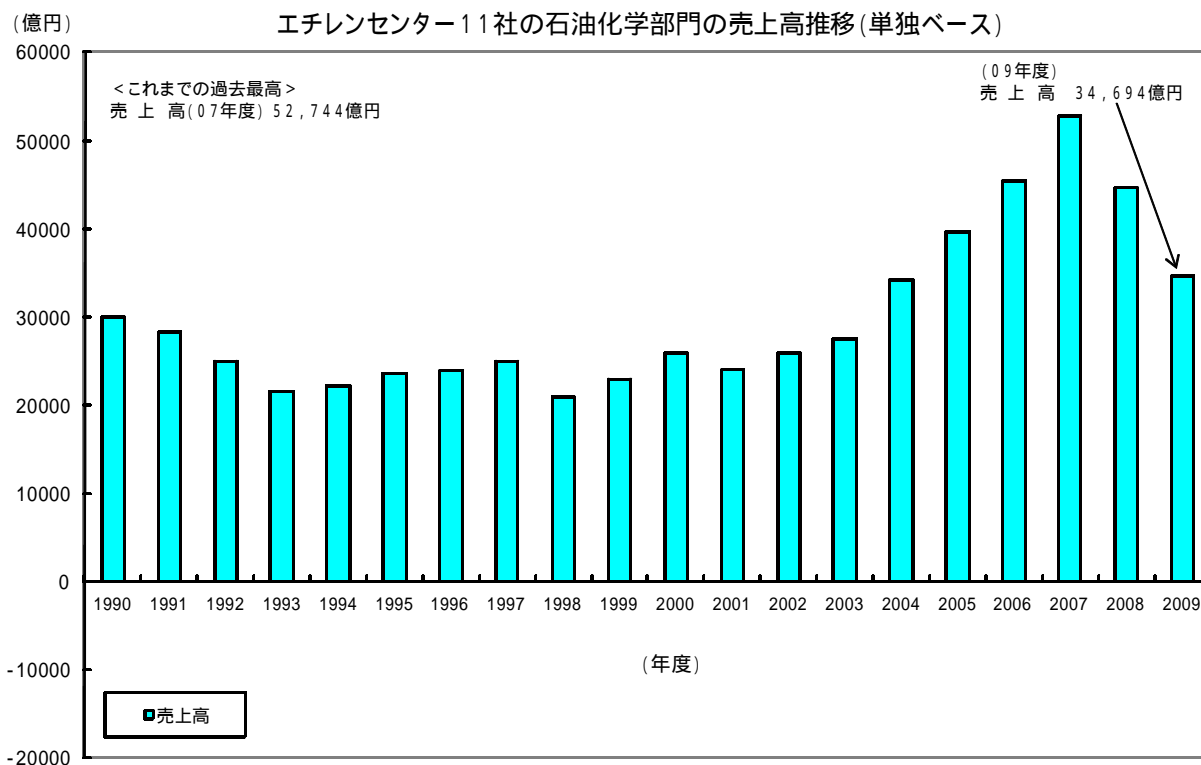
平成22年6月30日  
製造産業局化学課

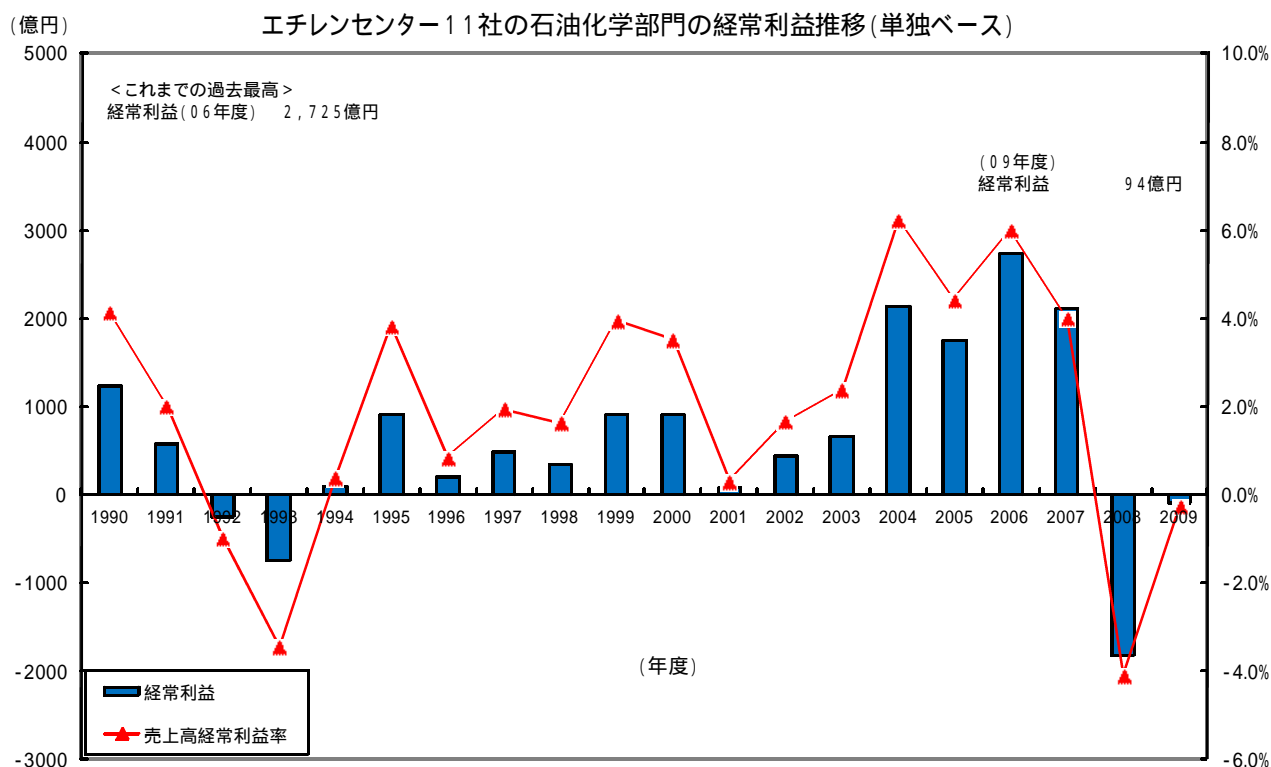
平成21年度のエチレンセンター11社の石油化学部門の収益状況について、売上高は、ナフサ等の原料価格の下落の影響から減少。経常利益は、昨年度は原油価格が約145ドルから約34ドルまで下がった(WTI)ことにより、ナフサの価格が下落し、製品価格に原料コストを転嫁しきれず、在庫評価損を計上する等したが、今年度は、在庫評価損が減少したことや、石油化学製品の生産量及び販売数量が回復したこと等から減益幅が縮小した。

(売上高) 3兆4,694億円(対前年同期比22.4%減)

(経常利益) 94億円(対前年同期比94.8%増)

(売上高経常利益率) 0.3%(対前年同期比3.8ポイントの増)





エチレンセンター11社の石油化学部門の収益推移(単独ベース)  
(単位:億円)

年度		16	17	18	19	20	21
石油化学部門	売上高 [億円] (前年同期比:%)	34,199 (+24.5)	39,634 (+15.9)	45,365 (+14.5)	52,744 (+16.3)	44,696 (-15.3)	34,694 (-22.4)
	営業利益 [億円] (前年同期比:%)	2,156 (+204.1)	1,770 (-17.9)	2,455 (+38.7)	1,900 (-22.6)	-2,015 (-206.1)	3 (100.1)
	経常利益 [億円] (前年同期比:%)	2,132 (+226.0)	1,753 (-17.8)	2,725 (+55.4)	2,108 (-22.6)	-1,825 (-186.6)	-94 (94.8)
	売上高経常利益率 (%)	6.2	4.4	6.0	4.0	-4.1	-0.3
全社	売上高 [億円] (前年同期比:%)	47,985 (+19.5)	54,930 (+14.5)	61,927 (+12.7)	69,530 (+12.3)	59,991 (-13.7)	48,624 (-18.9)
	営業利益 [億円] (前年同期比:%)	2,963 (+116.4)	2,557 (-13.7)	3,448 (+34.8)	2,298 (-33.3)	-2,111 (-191.9)	-298 (85.9)
	経常利益 [億円] (前年同期比:%)	3,111 (+135.3)	2,693 (-13.4)	4,059 (+50.7)	2,721 (-33.0)	-1,590 (-158.4)	-27 (98.3)
	売上高経常利益率 (%)	6.5	4.9	6.6	3.9	-2.7	-0.1

(平成21年度集計対象)

出光興産(株) <石油化学部門>、大阪石油化学(株)、山陽石油化学(株) 昭和電工(株)、新日本石油(株) <石油化学部門>、住友化学(株)、東ソー(株)、東燃化学(株)、丸善石油化学(株)、三井化学(株)、三菱化学(株)

【参考】

エチレンセンターの石油化学部門の収益推移（連結ベース）

（単位：億円）

年度		1 6	1 7	1 8	1 9	2 0	2 1
石油化学部門	売上高 [億円] (前年同期比:%)	46,386 (+23.6)	55,179 (+19.0)	63,184 (+14.5)	72,364 (+14.5)	66,426 (-8.2)	52,056 (-21.6)
	営業利益 [億円] (前年同期比:%)	3,338 (+141.9)	2,946 (-11.7)	3,856 (+30.9)	2,973 (-22.9)	-2,034 (-168.4)	338 (116.6)
	売上高営業利益率 (%)	7.2	5.3	6.1	4.1	-3.1	0.6

注) 連結対象会社の変更等があるので、前年度と単純な比較はできない。

（平成 2 1 年度集計対象）

旭化成（株）＜ケミカル部門＞、出光興産（株）＜石油化学製品部門＞、昭和電工（株）＜石油化学部門＞、新日本石油（株）＜石油化学製品部門＞、住友化学（株）＜石油化学部門＞、東ソー（株）＜石油化学部門＞、東燃ゼネラル（株）＜石油化学製品部門＞、丸善石油化学（株）＜単独の数値＞、三井化学（株）＜基礎化学品、機能材料部門＞、三菱化学（株）＜ケミカルズ、ポリマーズ＞